



～礼儀と節度を考える～

平成武師道

〈人間活動学〉

『知古知新』

最近、子供の頃に放映していた特撮やアニメのDVDを観ている。

例えば、ウルトラマンやウルトラセブンなどのヒーローもの。

それらのDVDを購入したのが、十数年前だったと思う。買ってすぐに観ていたのだが、久しぶりにもう一度観直してみた。

実は、内容をかなり忘れていたのである。

昔から何回も再放送をテレビで観ていて、DVDも一度は観ているにも拘らず、覚えていないのである。

こんなに覚えていないものなのか・・・。

記憶の欠如には不安も起こるもの。

歳を重ねることに忘れていくものが増えていく。

何もせずに、そのまま時間だけをダラダラと過ごして生活を送り、記憶が薄れていく。

少し恐ろしいことかも知れない。

そうかと言って、忙しく日々を送っていても忘れてしまうものは忘れてしまう。

結論として、時間が経てば忘れていくものなのだ。

忘れていくことさえ気づかずに、生活を送っている方が幸せかもしれない。

知らぬが仏。

世の中、知らない方が平穏無事にいれることもある。

ただ、現実はそのとはいかないもの。

朝から晩まで、地球上どこでも簡単に様々な情報が入る時代。

良いこと、悪いこと、知りたくなくても、知ってしまう。忘れることもあれば、知ることもある。

これが人生なのだ。

昔のことを思い出したいと思えば、もう一度振り返ればいい。

新しいことを知りたいと思えば、学べばいい。

忘れるものは忘れる。

だから、忘れていたことを恐れずに、また覚えればいい。

生きている限り、その気持ちさえ忘れなければ、常にワクワク・ドキドキな気持ちで人生を送れるのではないだろうか。

DVDをデッキに入れた。

ウルトラマンがテレビの画面に映った。

あれ、こうだったかな。あ～、こんな話だったのか。

新鮮な気持ちで観ることができ、ワクワク・ドキドキ。

初めて観るようなお得な気分にもなれた。



元K-1 佐竹雅昭が語る 格闘人生4度の“死の淵”と引退後
日刊ゲンダイ 7月30日 9時26分配信

佐竹総長のインタビューがヤフーニュースで配信されました。

<http://headlines.yahoo.co.jp/hl?a=20150730-00000015->

nkgendai-ent